

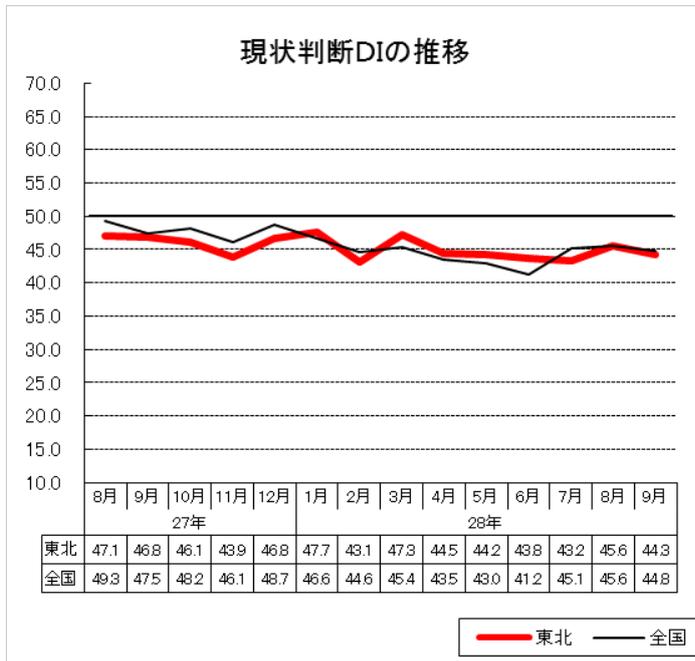
報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 9 月東北分
 (新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力㈱取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 9 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「44.3」と2か月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲1.3ポイントとやや下回り、14か月連続で景気判断の基準となる50を下回った。



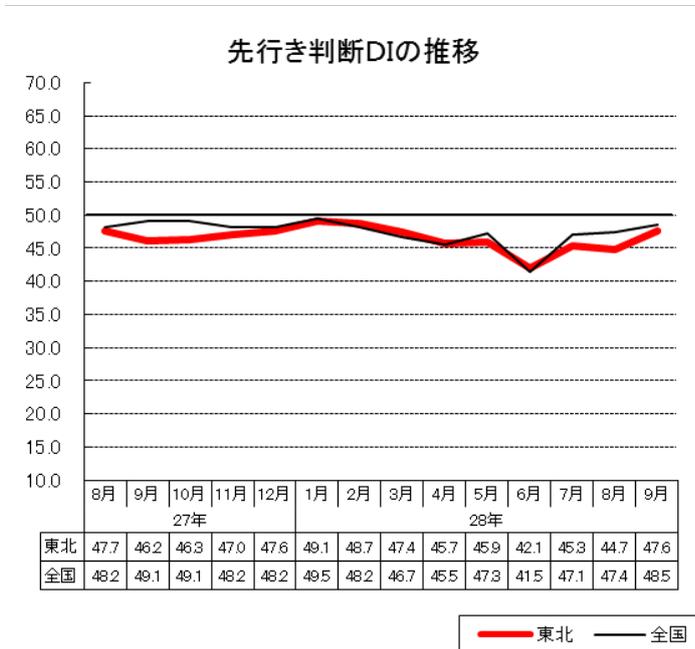
・家計動向…高級レストラン、観光型ホテル、タクシー運転手等で DI が前月を上回ったが、観光名所・遊園地、旅行代理店、美容室等の業種で DI が前月を下回った。DI は「43.3」(▲1.1)と2か月ぶりに前月を下回り、基準値 50 を 16 か月連続で下回った。

・企業動向…その他非製造業、一般機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で前月を上回ったが、農林水産業従事者、出版・印刷・同関連産業、電気機械器具製造業、金融業等の業種で DI が前月を下回った。DI は「47.5」(▲0.5)と3か月ぶりに前月を下回り、基準値 50 を 6 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「44.3」(▲4.6)と2か月ぶりに前月を下回り、基準値 50 を 3 か月連続で下回った。

2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI は「47.6」と2か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+2.9ポイントとやや上回ったが、15か月連続で景気判断の基準となる50を下回った。



・家計動向…住宅販売会社、通信会社、旅行代理店等の業種で DI が前月を下回ったが、高級レストラン、観光名所・遊園地、住関連専門店等の業種で DI が前月を上回った。DI は「47.4」(+4.8)と2か月ぶりに前月を上回ったが、基準値 50 を 15 か月連続で下回った。

・企業動向…出版・印刷・同関連産業、農林水産業従事者、電気機械器具製造業等の業種で DI が前月を下回ったが、それ以外の業種では前月から DI が横ばいもしくは上回った。DI は「47.5」(▲1.2)と3か月ぶりに前月を下回り、基準値 50 を 6 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「48.9」(▲2.2)と、3か月ぶりに前月を下回り、2か月ぶりに基準値 50 を下回った。

<参 考>

■DIの推移※

(1) 現状判断(方向性)DI

	27年					28年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東北現状	47.1	46.8	46.1	43.9	46.8	47.7	43.1	47.3	44.5	44.2	43.8	43.2	45.6	44.3
家計動向関連	46.2	45.6	44.9	42.3	45.7	47.3	41.7	46.6	42.5	42.4	43.2	42.2	44.4	43.3
企業動向関連	47.5	48.7	47.5	47.6	47.4	47.0	46.2	50.0	46.9	46.7	42.5	43.6	48.0	47.5
雇用関連(参考)	52.3	51.1	51.1	47.7	52.3	51.1	46.6	46.4	52.5	51.3	50.0	48.9	48.9	44.3

(2) 先行き判断DI

	27年					28年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東北先行き	47.7	46.2	46.3	47.0	47.6	49.1	48.7	47.4	45.7	45.9	42.1	45.3	44.7	47.6
家計動向関連	46.9	45.0	45.9	45.3	46.6	48.8	49.1	46.5	44.8	44.7	43.6	45.0	42.6	47.4
企業動向関連	49.4	46.8	46.3	51.2	46.1	49.4	44.9	50.0	46.9	48.0	36.3	44.2	48.7	47.5
雇用関連(参考)	50.0	52.3	48.9	50.0	56.8	51.1	53.4	48.8	48.8	50.0	43.8	48.9	51.1	48.9

※DI (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 28 年 9 月 25 日～30 日

回答者数 197/210 名、回答率 93.8%(全国 1,877/2,050 名、91.6%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 菅場 喜樹)
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10
TEL : 022-225-1426 FAX : 022-225-0082

<別紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（建設業）…大型官庁工事の設計変更などを先行計上したことにより、業績が上向いている。

○「やや良くなっている」

（衣料品専門店）…残暑の影響により、9月中旬まで夏物消費のニーズが続いている。その後は、台風通過後の気温低下によってようやく秋物消費も立ち上がっており、客の購入モチベーションが上がってきている。

（乗用車販売店）…新型車効果もあり、来客数、販売量共に回復傾向にある。

（高級レストラン）…周辺のイベントの影響で、インバウンドや来県者によるにぎわいがみられている。また、客単価も並行して向上しており、地域顧客にも相乗して売上が上昇する動きがみられる。

（住宅販売会社）…後継者のいない経営者の資産処分が多く、このことで新しい宅地の仕入となり、新規物件受注につながっている。

（電気機械器具製造業）…半導体製品の大口受注価格が徐々に回復傾向にあり、それが事業実績に少しずつではあるが、反映されてきている。

○「変わらない」

（商店街）…天候不順の要素を除いても、売上は芳しくない。客単価の低下傾向は、過去の最も不況であった時期に似ている。思うように増えない収入と、食品や日用品がじわじわと値上がりしている状況で、客は財布のひもを締めがちになっている。

（医薬品販売店）…春からの業績悪化から回復できないまま、横ばいで推移している。月前半は好調であり回復の兆しもみえたが、天候不順もあり、下旬は予想を上回る低迷に見舞われている。そのため、前半好調だった業績が帳消しになり、マイナスとなっている。

（家電量販店）…9月の前半は気温が上昇したこともあり、季節商材が好調に推移している。ただし、来客数については前年比90%の状態が続いている。

（観光型ホテル）…例年よりやや悪い予約状況である。全体の動きが鈍く、多少料金を下げても集客にはつながっていない。

（都市型ホテル）…フリー客の減少は止まっているものの、前月とあまり変わらない状況である。昔から選挙があると全体の動きが鈍る傾向にあるが、来月も選挙が予定されているため、減少はないものの、停滞感が漂っている。

（通信会社）…新規加入者数、解約者数共にここ数か月変わらず、純増数、純減数共に大きな変化はみられない。ただし、これまでと違い、新規加入者の半分を県外からの転入者が占めている状況である。新たな客の加入に救われてようやく一定の数を保っている。

（リフォーム業）…受付件数は前年並みまでに回復している。

（食料品製造業）…前半の動きは良かったが、台風や飛び石連休の影響により、中旬以降は売上が大きく落ち込んでいる。また、今年は前年のような大きなイベントがなく、トータルでも大きく前年を下回っている。

（金融業）…円高や株式市場の不透明感から、資産運用業務の環境は厳しくなっている。

（人材派遣会社）…求職者と求人とのミスマッチが多い状態が続いている。

（職業安定所）…求人は引き続き堅調に推移している。ただし、好況による人手不足ではなく、労働力人口の減少によりなかなか充足できないことが要因である。

○「やや悪くなっている」

- (百貨店) …新規客が増えず、顧客の動員で売上が左右される状況に変化はない。また、季節の変わり目に合わせて新しいものを買うことが後回しになり、実需期にならないと買物に来ない客も非常に多くなっている。加えて、買う側の環境はネット通販など、幅広い選択肢があり、価格やトレンドを自分のライフスタイルに合わせて選べるため、百貨店離れは更に拡大しそうである。
- (スーパー) …例年にない大型台風の来襲や天候不順により、来客数が大きく影響を受けており、更に買上点数も減少している。対策としてチラシ価格を強化しているが、それは競争店も同じであり、客単価が低下している状況である。
- (コンビニ) …9月の来客数は、悪天候の影響もあり前年比で2%以上減少している。また、コンビニの強みであるファストフードも、6か月連続して前年を下回っている。来客数の減少に加えて、プラス一品の購入が抑えられている状況である。
- (酒類専門店) …今月は気候が安定せず台風も多かったことから、飲食店や観光客向けの物産館などの販売量に大きく影響している。また、野菜などの生鮮食品の価格高騰がニュースなどで大きく報道され、消費者の財布のひもが一層固くなる要因となっており、特に飲食店では大きな影響が出ている。
- (一般レストラン) …会社関係の客単価にはあまり変化がないが、個人客の単価は低下している。フランチイズ店間の価格競争があるなか、賃金の上昇が緩やかな流れになっているようであり、なかなか思い切った消費には結びついていない。
- (旅行代理店) …例年と比べて連休の並びが悪かったことと、台風が連続したことにより、出控える人が多かったように見受けられる。このことから、景気が良くないと判断している。
- (遊園地) …大型連休のあった前年と比較して、来客数が減少することは織り込み済みである。しかし、今年は平年の40%の日照率であり雨も多く、業績は弱含んでいる。
- (競艇場) …3か月前と比較して、客単価が落ちてきている。
- (美容室) …夏の消費の反動か、来店周期が少し伸びている。そのため、来客数がやや減少傾向にある。
- (出版・印刷・同関連産業) …3か月前と比較して、受注量の前年比が落ち込んできている。景気に敏感な業種のため、景気は悪くなっているといえる。
- (窯業・土石製品製造業) …震災復興の需要が減少している。
- (広告業協会) …新聞広告は9～10月共にかなり厳しい状況にある。テレビ広告関係でも、スポットは埋まっているものの、売上の増加には至っていない。ただし、折込広告関係は通販、サービス関係がやや回復してきている。
- (新聞社[求人広告]) …台風10号の豪雨被害が多方面に広がっている。観光面では、イベントの中止や宿泊施設のキャンセルが相次いでおり、観光の復興に水を差している。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

- (百貨店) …客の消費行動は、自分が気に入ったものは価格にかかわらず購入する方向に変化しつつある。今後も同様の傾向が続くとみており、これから景気は少しずつ良くなっていくのではないかとみている。
- (衣料品専門店) …来客数は伸びていないが、客単価は上昇傾向にある。購買層の二極化はあるものの、今まで百貨店などで服を作っていた方の来店もあり、まとめ買いもみられている。そのため、来客数さえ戻れば、景気は良くなるとみている。
- (乗用車販売店) …主力車がマイナーチェンジのため販売できずに伸び悩んでいる。ただし、11月には販売が再開されるため、販売量が伸びることを期待している。
- (高級レストラン) …前月から予約が順調であり、この先も好調な状態が続く見込みである。
- (旅行代理店) …秋の行楽シーズンがこれから最盛期を迎えるが、予約状況が良く期待感がある。そのため、今月と比べると良くなるとみている。

- (観光名所) …秋以降に大きなイベントを計画しているため、来客数の増加を見込んでいる。
- (電気機械器具製造業) …製品価格の回復傾向は今後も続くとみており、業績だけではなく、賃金の上昇や設備投資の増加につながることを期待している。
- (輸送業) …新規取扱が年末にかけて順調に推移する見込みである。
- (人材派遣会社) …冬の繁忙期に対する求人依頼が例年より早い。採用難からか他社に先駆けて動いている様子である。従来の時期よりも早まっているという意味で、景気は良くなっている。

○「変わらない」

- (商店街) …これから秋物の動きが順調に推移していくとみているが、現状よりも確実に良くなるとは言いがたく、現状維持が続くのではないかとみている。
- (スーパー) …野菜類の高騰など、台風の影響は多少残っているが、物価そのものは安定しており、景気が大きく悪化することはないとみている。
- (都市型ホテル) …この先は、秋の行楽や忘年会などが控えている。比較的天候が安定しているため、宿泊は好調が見込めるが、婚礼の次に会合の件数が減少傾向にあるため、予断は許さない。
- (食料品製造業) …個人消費は全体的に節約志向のままであり、大きな変化がない。この先、秋冬商品が店頭で並ぶことで購買意欲につながることを期待している。
- (建設業) …工事受注額は当初の見込み通りであり、この先2～3か月先は現状のまま推移するとみている。
- (広告代理店) …様子見をしている企業が増えているようである。中央の動きが良くなれば、そちらに引っ張られるだろうが、このままだと悪くなる可能性もある。
- (公認会計士) …建設関係の会社が頑張っており、ここ2～3か月に全体的な大きな落ち込みはないとみている。従って、景気についても大きな変化はないのではないかとみている。
- (職業安定所) …人手不足の業種があるなかで、業績不振に伴う人員整理や事業所廃止の情報も相次いでおり、先行き不透明感が増している状況にある。

○「やや悪くなる」

- (コンビニ) …競合店が増え、影響も徐々に大きくなっている。さらに、冬に近づくにつれて来客数も減り、除雪や光熱費などの負担も重くのしかかってくる。今年は本当に厳しい冬になるだろう。
- (一般レストラン) …今月はたまたま良かったが、来月以降からは再び前年を下回るのではないかと危惧している。また、このところの異常気象により、外に出る人が少なくなることを心配している。
- (新聞社[求人広告]) …台風被害を受けた企業が、事業継続を断念するケースを懸念している。これは、東日本大震災からの復興途上の本県にとって大きな打撃である。

○「悪くなる」

- (出版・印刷・同関連産業) …マイナス金利の影響で、金融機関の収益が圧迫されており、広告宣伝費が大幅に圧縮されてきている。回り回って全業種に影響がでてくるのではないかと危惧している。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上